

日程表

第26回PEG・在宅医療学会学術集会 プログラム 9月10日

	第1会場	第2会場
8:00		
8:30	8:20～開会挨拶	
9:00	8:30～9:50 緊急企画ワークショップ 「コネクタ問題－新旧規格の並存にいかに対応するか：今こそエンドユーザーに寄り添うために」	8:30～9:05 一般演題1 チーム医療・教育・NST
9:30		9:05～9:40 一般演題2 摂食嚥下・NST
10:00		9:40～10:01 一般演題3 栄養評価
10:30	10:00～11:30 シンポジウム 「胃瘻造設の手技の工夫と安全性」	10:01～10:36 一般演題4 症例報告
11:00		10:36～11:18 一般演題5 管理・栄養投与
11:30		
12:00		11:30～12:30 ランcheonセミナー 共催：株式会社大塚製薬工場 イーエヌ大塚製薬株式会社
12:30	12:30～12:45基調講演	
13:00		
13:30	12:45～14:10 特別講演	
14:00		
14:30		
15:00	14:30～15:26 一般演題6 手技・適応・合併症	14:10～16:00 PEGチーム医療委員会企画
15:30	15:26～16:01 一般演題7 QOL	
16:00	16:01～16:29 一般演題8 PEG-J（減圧・LCIG）	16:00～16:40 会長要望ワークショップ
16:30		
17:00	16:30～17:30 ワークショップ 「胃瘻栄養と経口摂取は本当に相容れるか」	16:40～17:29 一般演題9 カテーテル交換
17:30	17:30～次回大会長挨拶・閉会挨拶	
18:00		

プログラム

緊急企画ワークショップ

第1会場 8:30～9:50

「コネクタ問題—新旧規格の並存にいかに対応するか：今こそエンドユーザーに寄り添うために」

座長：倉 敏郎（くら内科内視鏡クリニック、PEG カテーテル問題検討委員会）
小川 滋彦（小川医院）

委員会報告．カテーテル新規格問題 これまでの経緯と今後の問題点

倉 敏郎（くら内科内視鏡クリニック、PEG カテーテル問題検討委員会）

基調講演．世界標準の医療安全と、本邦の実情を考慮した最善の選択への道のり

一般社団法人 日本医療機器産業連合会

ISO/TC210 国内対策委員会 JWG4 分科会

奥野 欣伸

W2-1. 重症心身障害医療の現場から見た経腸栄養デバイスの意義

長期ユーザーにとって経腸栄養ルートはライフラインであり旧規格製品は必要な選択肢である

重症心身障害児者施設つばさ静岡

浅野 一恵

W2-2. 新規格コネクタの検証！警告 新規格使用により医療事故は増加する！

千里リハビリテーション病院

合田 文則

W2-3. 新規格誤接続防止コネクタ（ISO 80369-3）に関するアンケート調査報告

社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院 食養科、国立病院機構別府医療センター 外科、

大分 PEG・経腸栄養研究会

和田 光代

W2-4. エンドユーザーに寄り添った地域での PEG 管理

医療法人 西山医院

西山 順博

指定発言．大学病院における安全面を確保した新規格・旧規格の併存

熊本大学病院小児在宅医療支援センター

小篠 史郎

シンポジウム

第1会場 10:00～11:30

「胃瘻造設の手技の工夫と安全性」

座長：松本 敏文（国立病院機構 別府医療センター 外科）

指定コメンテーター：鈴木 裕（国際医療福祉大学病院 外科）

S-1. 経皮内視鏡的空腸瘻造設術（DPEJ）の工夫とアウトカム

JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院 内科

西脇 伸二

- S-2. 超高齢化社会を迎えた経皮内視鏡的胃瘻造設術
ー Introducer 変法から Clean Pull : iPEG へー
我孫子聖仁会病院 外科 花ヶ崎和夫
- S-3. 当院における PEG の偶発症の検討とその対策
南奈良総合医療センター 堀内 葉月
- S-4. 胃切除術後の内視鏡的胃腸瘻造設術施行症例の検討 ー黎明期と確立期の比較ー
社会医療法人財団 中村病院 外科・NST 太田 信次
- S-5. 小児への造設法を再考する
トトロこどもクリニック 草間 龍一
- S-6. 当院における内視鏡的胃瘻造設術の早期合併症を減らす取り組み
大阪市立総合医療センター 長谷川 毅
- S-7. PEG を安全に行うための指サイン維持穿刺補助機器 “DIGIPUSHER” の使用経験
ー第 3 報ー
さくら病院、つくし野病院 片山 寛次
- S-8. 当院における胃瘻造設困難症例に対する手技の工夫：
大腸内視鏡併用胃瘻造設の成績を中心に
島根大学医学部 内科学講座第二 川島 耕作

基調講演

第 1 会場 12 : 00 ～ 12 : 45

「国際標準の胃瘻に対する科学的・倫理的な考え方」

医療法人むねむら大腸肛門科 英国セントクリストファー・アカデミー

今里 真

特別講演

第 1 会場 12 : 45 ～ 14 : 10

「真の QOL とは何かー緩和ケアと医療倫理を奪還するために」

座長：小川 滋彦（小川医院）

演者：中島 孝（国立病院機構新潟病院）

第1会場 14:30～15:26

一般演題⑥「手技・適応・合併症」

座長：引地 拓人（福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部）

- 06-1. 当科における最近5年間における経皮内視鏡的胃瘻造設術の検討
埼玉医科大学 消化管内科 大庫 秀樹
- 06-2. 経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）の成否予測として、術前・通常CT検査の有用性の検討
金沢医科大学 消化器内視鏡学、金沢医科大学 高齢医学、はまだクリニック 濱田 和
- 06-3. 当院での胃瘻造設の経験～18年間でふりかえって
高山赤十字病院 消化器内科 白子 順子
- 06-4. 円形メスのススメ
日立港病院 末永 仁
- 06-5. 胃大弯寄りに胃瘻造設術を施行した3例
村上記念病院 西野圭一郎
- 06-6. 初学者がPEGの適否を評価するためのCTの活用
鶴岡協立病院 松島 得好
- 06-7. 経皮内視鏡的胃瘻造設術後の早期死亡に関する因子の検討
大阪市立総合医療センター 関 由季
- 06-8. PEG後の早期死亡率～ジェンダー・ギャップの影に栄養ギャップあり！？～
健和会大手町病院 久田 裕史

第1会場 15:26～16:01

一般演題⑦「QOL」

座長：西山 順博（医療法人西山医院 院長）

- 07-1. 大津市内の在宅医療における人工的水分・栄養補給法
(artificial hydration and nutrition :AHN) の変遷 2022
医療法人西山医院 中村 智子
- 07-2. 経管栄養を中止する時～PEG施行症例の転帰に関する検討
医療法人社団慈豊会 久藤総合病院 外科 出口 康
- 07-3. 療養病床における経腸栄養症例の検討ー人生の最終段階での対応を中心にー
南和広域医療企業団 五條病院 内科 森安 博人
- 07-4. 胃瘻＝一生食事がとれない？栄養をすべて経口でとる必要があるのか？
全国訪問ボランティアナースの会キャンナス キャンナス吹田、
ケアプランセンター輝さん家 河本 郁子
- 07-5. がん終末期、特発性偽性小腸閉塞症に対して消化管減圧目的に胃瘻造設した一例
医療法人くれよん くれよん在宅クリニック 桶口 史篤

第1会場 16:01～16:29

一般演題⑧「PEG-J（減圧・LCIG）」

座長：今枝 博之（埼玉医科大学病院 消化管内科）

08-1. PEG-Jによる減圧と適切な経腸栄養剤の選択でイレウスが改善し経腸栄養が可能となった1例

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター

犬飼 道雄

08-2. 腸管減圧目的にPEG-Jを造設した慢性特発性偽性腸閉塞症の1例

国立病院機構 東近江総合医療センター 消化器内科

森 太平

08-3. レボドパカルビドパ経腸（LCIG；levodopa-carbidopa intestinal gel）療法専用PEG-Jカテーテルの自己管理に難渋している症例

東邦大学医療センター大森病院 栄養治療センター

田中美奈子

08-4. 胃瘻造設後腹膜炎を経てLCIG療法の長期継続に至った1例

東北大学病院 消化器内科

金 笑奕

ワークショップ

第1会場 16:30～17:30

「胃瘻栄養と経口摂取は本当に相容れるか」

座長：三原 千恵（医療法人信愛会 日比野病院 脳ドック室・NST）

コメンテーター：PEG チーム医療委員会メンバー

W3-1. 当院における「胃瘻栄養と経口摂取」の両立への取り組み

医療法人藤仁会 藤立病院

上田 章人

W3-2. 他院の主治医と連携して早期に胃瘻造設を行い、経口摂取を継続している進行性核上性麻痺の一例

高崎総合医療センター NST、高崎総合医療センター 歯科口腔外科、
日本大学歯学部 摂食機能療法学講座

木村 将典

W3-3. AHN導入に関する意思決定に寄り添った訪問看護の役割

訪問看護ステーションあい

横山 孝子

第2会場 8:30～9:05

一般演題①「チーム医療・教育・NST」

座長：飯田 武（下関医療センター 消化器内科）

- 01-1. 頭頸部がんサージカルボードにおける消化器内科医・内視鏡医の役割
茨城県立中央病院 消化器内科 天貝 賢二
- 01-2. 栄養と運動を基軸に入院前から在宅までを支える、多職種介入「患者サポートセンター」の役割
国立病院機構 高崎総合医療センター リハビリテーション科、
国立病院機構 高崎総合医療センター 患者サポートセンター 綿貫 嘉晃
- 01-3. 当院の NST による在宅退院患者への支援
公立丹南病院 田口 都
- 01-4. 胃瘻造設から使用までに年月を経た症例への情報提供について
福井大学医学部附属病院 栄養部 早瀬 美香
- 01-5. 快適な PEG 管理には、医療従事者への教育が重要である
公立松任石川中央病院 NST 石井 要

第2会場 9:05～9:40

一般演題②「摂食嚥下・NST」

座長：荻原 博（高崎総合医療センター リハビリテーション科）

- 02-1. 経腸栄養から経口摂取へと移行した患者の経過の検討
医療法人穂仁会 大滝病院 栄養部 三木瑛里加
- 02-2. 舌癌術後再発に対する化学放射線療法開始前の胃瘻造設と NST 介入により、円滑に在宅療養に移行できた一例
金沢大学附属病院 栄養管理部 /NST 小林 真理
- 02-3. 経鼻胃管抜去が即時的に嚥下機能の改善に寄与した 1 例
JCHO 下関医療センター リハビリテーション部 藤井 雄一
- 02-4. アフターコロナ患者の食べるを支える～ NST 介入後再び経口摂取が可能となった一例～
医療法人社団八千代会 メリィホスピタル 栄養科 南口 将樹
- 02-5. 患者・家族が望む生活を継続しつつ在宅経管栄養を導入する
～多職種それぞれの関わりと連携の重要性～
KKR 北陸病院 河合 有沙

第2会場 9:40～10:01

一般演題③「栄養評価」

座長：大村 健二（上尾中央総合病院 外科）

- 03-1. エネーボ配合経腸溶液を使用した維持透析患者の栄養管理についての検討
（医）腎愛会だてクリニック 大里 寿江

- 03-2. 経管栄養患者に対する、適正 PFC（たんぱく質・脂質・炭水化物）バランスの臨床検討
みらい病院、金沢大学 医薬保健学総合研究科 前山美千代
- 03-3. 経腸栄養剤長期投与においては高銅血症、低亜鉛血症をきたす（第2報）
城北病院 大野 健次

第2会場 10:01 ~ 10:36

一般演題④「症例報告」

座長：小池 智幸（東北大学大学院 消化器病態学分野）

- 04-1. 外科手術と並行して胃瘻造設となった2例
天心堂へつぎ病院 看護部 伊東 陽集
- 04-2. 低栄養で褥瘡のある方の栄養介入
医療法人社団研医会 高岡駅南クリニック 江澤 礼江
- 04-3. 携帯型エコーを用いた大腸便貯留観察により下剤投与量および排便回数が減少した
寝たきり PEG 患者の一例
石川県立看護大学 看護学部 松本 勝
- 04-4. 腸瘻造設により経口摂取可能となった食道癌術後長期経口摂取困難の1例
国際医療福祉大学病院 高橋 潤次
- 04-5. エドルミズの投与で在宅療養が可能となった三重複癌の一例
上尾中央総合病院 大村 健二

第2会場 10:36 ~ 11:18

一般演題⑤「管理・栄養投与」

座長：島本 和巳（淡海医療センター 消化器内科）

- 05-1. PEG 後の半固形栄養製品低粘度と自然落下注入法に関する現状と展望
悦伝会目白第二病院 水野 英彰
- 05-2. 経腸栄養分野新規格コネクタ（ISO80369-3）への切り替えで生じた2事例
坂ノ市病院 吉田 香
- 05-3. 新型コネクタの問題点とその改良法を考察する
トトロこどもクリニック 草間 龍一
- 05-4. 新規経腸栄養用コネクタ ISO80369-3 の患者側接続部洗浄法の検討
大阪大学国際医工情報センター 井上 善文
- 05-5. 胃瘻造設後12年目に生じたバンパー埋没症候群の1例
国立病院機構 金沢医療センター 救急治療部 華岡 晃生

05-6. 胃瘻後進施設での安全な胃瘻管理のために

順天堂医院 上部消化管外科

夕部由規謙

ランチョンセミナー

第2会場 11:30～12:30

共催：株式会社大塚製薬工場・イーエヌ大塚製薬株式会社

「小児の栄養マネジメント ～経腸栄養を中心に～」

座長：高見澤 滋（長野県立こども病院 小児外科）

演者：恵谷 ゆり（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

PEG チーム医療委員会企画

第2会場 14:10～16:00

「多職種で PEG 在宅医療の未来を語ろう」

座長：杉田 尚寛（(株) スパーテル医薬品情報室）

西口 幸雄（大阪市立総合医療センター 消化器外科）

コメンテーター：PEG チーム医療委員会メンバー

安全で適切な経管栄養管理のために

日本赤十字社栗山赤十字病院

真井 睦子

当院における食道癌患者の周術期栄養管理について

福島県立医科大学附属病院

木村 静華

認知症を伴う胃がん末期患者の在宅での看取り

ー多職種連携により家族の思いに寄り添った1例ー

黒部市民病院

山崎 直子

認知症患者の食問題への対応～訪問管理栄養士の取組～

小川医院 栄養ケアセンター

松本 夏実

多職種のアプローチにより胃瘻から経口摂取へ移行できた一例

JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院、看護師

國枝 通子

言語聴覚士から見た PEG 在宅療養

国立病院機構 東近江総合医療センター 栄養サポートチーム

白石 智順

在宅訪問管理栄養士が経験した在宅胃ろう継続困難患者に対する家族支援のあり方について

医療法人龍岡会 大森内科医院 管理栄養士

吉田美代子

当院 NST における代替栄養のパフレット作製の取り組み

ー患者さん・ご家族さんへ正しい情報を伝えるためにー

医療法人厚生会 福井厚生病院 栄養課

湯下 範子

会長要望ワークショップ

第2会場 16:00～16:40

「ミキサー食で PEG 栄養の未来を切り拓く」

座長：浅野 一恵（重症心身障害児者施設つばさ静岡）
永江 彰子（びわこ学園医療福祉センター草津）

基調講演． ミキサー食注入の病態への効果
大阪母子医療センター 臨床検査科 位田 忍

WS1-1. 医療的ケア児が地域の小学校に通う訪問栄養士としての支援
だいどうクリニック 在宅診療部 津田 直子

WS1-2. 旧規格品使用継続の救済措置が認められ、ミキサー食注入が
持続可能になった喜びと展望
ミキサー食注入で健康をのぞむ会（ミキ注会） 下釜 櫻子

WS1-3. ミキサー食注入の腸内細菌叢への影響
びわこ学園医療福祉センター草津 永江 彰子

第2会場 16:40～17:29

一般演題⑨「カテーテル交換」

座長：吉野 浩之（群馬大学 共同教育学部 特別支援教育講座）

09-1. 快適な PEG 栄養を目指してーこれからの安心安全な胃瘻交換への提言ー
我孫子聖仁会病院 花ヶ崎和夫

09-2. 理想のバンパーボタン型 PEG カテーテルとなりえるか？
～イディアルボタン ZERO の使用経験～
特定医療法人菊野会 菊野病院 消化器内科 伊東 徹

09-3. スカイブルー法は優れた胃ろうカテーテル交換方法である
東鷺宮病院 循環器・血管外科 水原 章浩

09-4. 炭酸水を利用したスカイブルー法
淡海医療センター 本郷 真功

09-5. 胃瘻交換後の携帯型超音波検査装置による留置確認法
医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所 泰川 恵吾

09-6. 無床クリニック開業医の胃瘻造設とカテーテル交換への関わり
イオンタウン田崎総合診療クリニック 城本 和明

09-7. 胃瘻チューブ交換難渋例の経験－他院での胃瘻造設症例－
富山市立富山まちなか病院

大上 英夫

ご案内

日程表・プログラム

特別講演
基調講演

シンポジウム

会長
ワークショップ
要望

緊急
ワークショップ
企画

ワークショップ

PEGチーム医療
委員会
企画

ランチョンセミナー

一般演題

【補遺】

プログラムに一部脱落がありましたので、ここに訂正追加いたします。

P.10 ワークショップ

第1会場 16:30~17:30

「胃瘻栄養と経口摂取は本当に相容れるか」

座長：三原千恵(医療法人信愛会日比野病院脳ドック室・NST)

コメンテーター：PEG チーム医療委員会メンバー

堀内 朗(昭和伊南総合病院消化器内科)

松原康美(北里大学看護学部)

助金 淳(日比野病院リハビリテーション科)

杉田尚寛((株)スパーテル医薬品情報室)

和田光代(社会医療法人財団天心堂へつぎ病院)

片岡 聡(田辺中央病院臨床薬剤部)

高橋幸亜(JHCO うつのみや病院栄養管理室)

P.13 PEG チーム医療委員会企画

第2会場 14:10~16:00

「多職種で PEG 在宅医療の未来を語ろう」

座長：杉田尚寛((株)スパーテル医薬品情報室)、西口幸雄(大阪市立総合医療センター消化器外科)

コメンテーター：PEG チーム医療委員会メンバー

伊東 徹(特定医療法人菊野病院消化器内科)

松原康美(北里大学看護学部)

助金 淳(日比野病院リハビリテーション科)

和田光代(社会医療法人財団天心堂へつぎ病院)

片岡 聡(田辺中央病院臨床薬剤部)

高橋幸亜(JHCO うつのみや病院栄養管理室)

梶西ミチコ(白十字病院)